

高松市立牟礼南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

ふるさとを愛し、ともに未来を切り拓く
たくましい児童の育成

【本校の課題】

- ・ 男女とも多くの種目で市・県平均を上回っている。しかし、男子において「50m走」「立ち幅跳び」「握力」「20mシャトルラン」。女子において、「50m走」「ソフトボール投げ」「20mシャトルラン」では、市・県平均を下回っている学年がある。
- ・ どの学年も、運動を積極的に行う児童とそうでない児童の2極化が見られる。
- ・ 休み時間に外で遊ぶ児童は多いが、遊びがやや固定化しており、多様な遊びができていない。

【現状】

休み時間は、外で遊ぶ児童が多いが、遊びの種類は学年によって特徴があり、低学年はおにごっこや遊具遊びが多く、中学年・高学年はドッジボールやサッカーが中心となっている。その一方で、休み時間に教室などで過ごし、外に出ない児童も少数見られる。また、スポーツ少年団等に属し、日常的にスポーツをしている児童は他校に比べ少ないのではないかと推測される。

ふれあい班活動で大縄跳びを行ったり、上級生の考えた遊びを行ったりしている。また、体育の時間に様々などの運動を行っているが、体力テストの結果には反映されていないものもある。

【本年度の取り組み】

【学級経営に活かす活動を】

担任が、昼休みに一緒に運動場に出たり、学級みんなで遊ぶイベントを企画したりするなど、遊んだり、身体を動かしたりすることで、学級の児童間の人間関係を円滑にするような学級経営を行うことを推奨したり、教師と児童との人間関係を構築したりする一助となることを期待したい。

【運動しやすい環境づくり】

安全・運動委員会の活動として、縄跳びボードを常設することで、運動に取り組みやすい環境をつくる。また、技を披露する機会をつくり、児童の興味関心を高める。

また、苦手な児童のために、柔らかいドッジボールを各クラスに配布して、遊ぶ児童を増やせるようにする。

【体育授業の改善】

運動量の確保、学習課題、振り返り、ICT 活用などの視点から、授業改善を図る。また、体育授業の中で、子どもたちが十分運動できるよう、単元構成や授業の流れを工夫する。（他の学年・学級の授業を参観し、自分の授業に生かす取り組みを現職教育でも推奨している。）

【目標】

- ・ 体力テストにおいて、全学年の全ての項目で、昨年以上の記録を目指すよう、児童の意識を高める。
- ・ 「みんなで行う運動」の推奨により、進んで体を動かす習慣がつくようにする。
- ・ 教師がしっかり体を動かして体力をつける授業を展開するとともに、児童が自らの目標を持ち、友達と励まし合いながら協力して活動したり、振り返りを行ったりする学習スタイルを身につける。